



宅老所 2 号館の状況報告



3月1日開設後、利用者様・ご家族・私たち職員の三者がそれぞれの立場で、希望や願いを込めて、さながらトライアングルのような三角形になり、絆を深めていっております。3月24日には利用者様の誕生会をご家族と一緒に祝いしました。自宅同様に家族と過ごす事ができ、利用者様、ご家族共に笑顔が絶えないひと時でした。



《庭に小さな畑も出来ました》

利用者様のご自身の経験から、土の作り方、芽の摘み時などを指導して下さいます。まるで我が子、孫に教えるように自分の役割を担っておられます。



ころころ収穫が出来るようにと利用者様が考えて下さった「ころころ農園」トマトもレタスも大きくなりました。収穫が楽しみです。(^-^)

《こんなに元気になりました》



普段は車椅子、でもこんなに歩けるようになりました！！



散歩して近所の方にごあいさつ！！



普段は経管栄養。でも時にはおせんべいも食べたいの！！

ゆりの里だより

第60号

平成26年5月

- ・小規模多機能の家
- ・グループホーム
- ・高齢者専用住宅
- ・宅老所すずなの園
- ・宅老所 2 号館
- ・訪問介護

ゆりの里

佐土原町下田島 19658-1

TEL0985-72-0680

宮崎市ゆりの里で検索可

優しい時間(とき)の流れる、絆強い極楽の園
人情・心通わす第二の家
ゆりの里

* 認知症シリーズ 第36回 *



アニマルセラピー（動物介在療法）



自分の役割を得て、お年寄りに笑顔が生まれる

アニマルセラピーは、認知症の場合は特に重度の人、意欲が低下している人に効果をあらわすといわれます。ただし、その効果は、他のリハビリテーションのような、日常生活動作（ADL）の改善や問題行動をなくす、といったことではありません。

動物と一緒にいるときに見せるお年寄りの笑顔そのものに、セラピーの意義や価値があるといえます。大切なのは、お年寄りが動物に見せる反応。まるで小さい子供に接するときのようです。

ふだんは無表情で、コミュニケーションがうまくいかないお年寄りが、動物とふれ合うときだけは生き生きとした表情を見せる。攻撃的で周囲に手を焼かせるお年寄りが、動物には優しく慈しむような愛情を見せて頭をなでたりする。何にも興味を見せず、一日中ぼんやりしているおばあさんが、動物に会うと、何かあげられるものはないかとバックの中を探したりして、世話を焼きたがる……。

そこに見られるのは、ふだんは叱られることの多いお年寄りが、ごく自然な形で自分の役割を取り戻せたことへの安心や自信の表情です。



認知症のお年寄りは、かなり重度で自分では何もできなくなっている人でも、心のどこかでは一方的に世話をされることにストレスのようなものを感じています。

ですから、そのケアには、それぞれの人が自分の役割を感じとれるような場面が必要なのです。

* お知らせとお礼 *

◎小規模多機能の家（通い・宿泊・訪問のサービスを自由に組み合わせ利用者様の生活にあわせた柔軟な支援をいたします）現在若干の空きがございます。見学・ご相談等承ります。お気軽にお越しください。

◎宅老所2号館を3月に開設いたしました。

宅老所は自宅での生活が難しくなっても地域の中で安心して生活ができる第二の家を目指した施設です。宅老所2号館開設につき入所受付中です。ご見学・ご相談承ります。お気軽にどうぞ。

◎ご家族様はじめ地域の方々の手作りの野菜、古紙、古布等あらゆる温かいお心遣いに心から厚く御礼申し上げます。

◎ゆりの里ではノーマライゼーションを運営方針にかかげ、人が人として生きる日々の生活を大事にする中、身の安全、ゆりの里の利用者様であることの証として腕にブレスレットを装着されています。もしも何らかの事態の折には地域の皆様方のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※各施設若干の空きが出ました。お気軽にお問い合わせください

TEL：72-0680

作成者：宅老所2号館 坂本